

スリットアニメーションカード 原画の編集について

千葉県立浦安高等学校
美術 高橋 茉莉江

1. 使用ソフト Adobe Illustrator CS6

2. スリットの作成

透明部分 1 : 遮蔽部分 (黒) (コマ数 - 1) の幅のスリットを作成する。本実践で使用したスリットは透明部分を 0.6mm で制作した。4コマのため遮蔽部分の幅は $0.6 \times (4 - 1) = 1.8\text{mm}$ となる。透明部分の幅を細くすれば、静止状態では原画を認識しやすくなるが、スリットの動かし方や、水平のズレなどの影響が大きくなるため注意が必要となる。スリット全体の大きさは $120 \times 140\text{mm}$ とし、A4サイズのOHPシート(インクジェット対応)1枚に2人分印刷をした。

3. 原画の編集

以下のパーツを、必要なコマ数分用意する。1コマごとにレイヤーを分けて編集をする。

①外枠 (四角)、原画用枠 (円)

外枠、原画用枠はカードに仕立てる時の寸法に合わせて、外枠 $130 \times 170\text{mm}$ の長方形に、中心から右に 5mm ずらして直径 100mm の円を配置する。

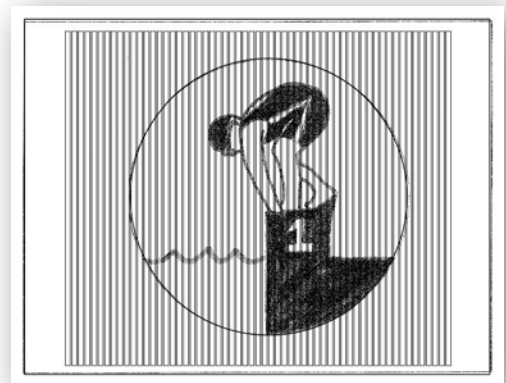
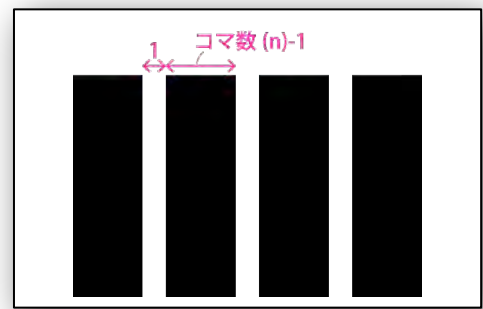
②スリット

①の原画用枠全体を覆うサイズのスリットを用意する。外枠を基準にし、1コマ目→4コマ目の順に、スリットの透明部分を、0.6mm ずつ左にずらしておく。

③原画

スキャンした原画を読み込み、①の原画用枠の円に合わせて配置しておく。

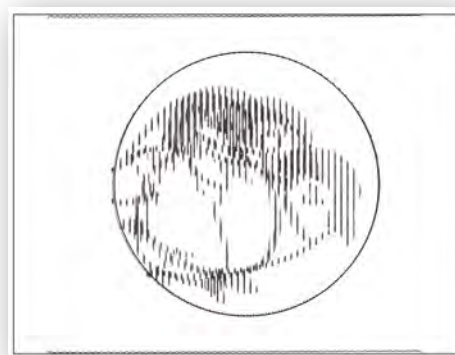
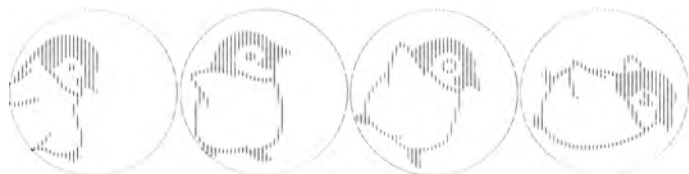
用意する際、スリット以外は外枠を基準としてコマごとに位置のずれがないように配置しておく。



④原画の編集（1コマごとに行う。）

用意した①原画用枠（円）と②スリットを選択>オブジェクト>複合パスを作成。

次に作成した複合パスと③原画を選択>右クリックでクリッピングマスクを作成、これで1コマ分の原画編集ができる。この作業をコマ数分繰り返し、全てのコマのレイヤーと、①と同じ基準の枠を表示させると原画の編集は終了となる。名前をつけて保存、印刷をする。



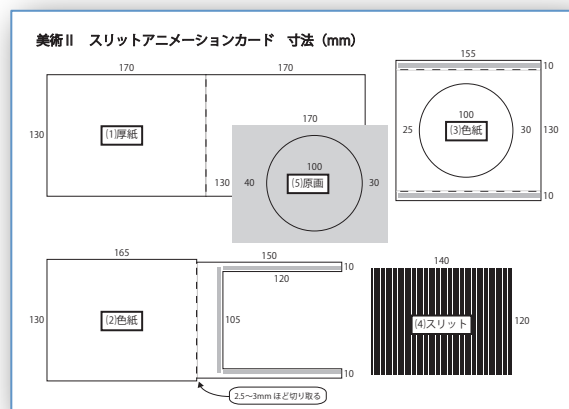
4. カードの制作

- 用意するもの
- ①厚紙（片面ボール紙）130×340mm
 - ②カラーケント紙 各色 A3
 - ③OHP シートにスリットを印刷したもの
 - ④編集した原画を印刷したもの
 - ⑤両面テープ 5mm 幅

右図の(2)、(3)色紙は、型紙を直接②カラーケント紙に印刷し、生徒が線に沿ってカッター等で切り抜く。

(4)スリットは③OHP シートにスリットを印刷したものを切り抜く。

各パーツの点線部分にはカッターで軽く切込みを入れ、折りやすくしておく。



ここまでの用意ができれば、カードの組み立てに入る。ビデオカメラとプロジェクターを用い、実際の作業を教室前方のスクリーンに写しながら説明をしている。材料を見ただけではどのように組み立てるのか想像が難しい部分もあり、失敗がないようによく確認をさせる必要がある。また、カードの寸法については、パーツ同士の貼り合わせのズレなどによってスリットがうまく動かない等の問題があり、これが最善とは言いかねる。更に改良をする必要性は感じながらも先延ばしにしているのが現状である。

